

単元名 (書写)書き初めを書く

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解することができる。
(3) 自己の課題に向けて、積極的に取り組もうとする。

標準的な展開例

10210310_001

【教材名】「新たな決意」「世界遺産」

(P. 129～P. 132)

【準備等】書き初め用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 字形や、漢字と仮名の文字の大きさの違いに気を付けて書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校での書き初めの体験を想起し、本時の学習課題をつかむ。 ★字形や漢字と仮名の文字の大きさに気を付けて書こう。 ○「新たな決意」の筆使いを知り、半紙3枚に試し書きをする。 ○基準を確認し、基準と比較して批正し、自己課題を設定する。 ○「新たな決意」を半紙に練習する。 <p>2 用紙に合わせて、文字の大小や行の中心に気を付けて書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を確認する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★文字の大小や行の中心に気を付けて書こう。 ○「新たな決意」を書き初め用紙に試し書きをする。 ○基準を確認し、基準と比較して批正し、自己課題を設定する。 ○文字の大きさ、中心を意識して練習する。 ○「新たな決意」を書き初め用紙にまとめ書きをする。 <p>3 本文と名前、楷書と仮名を調和よく、配列に気を付けて書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を確認する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★楷書と仮名、名前を調和よく配列させて書こう。 ○前時に書いた「新たな決意」に、名前を記入する。 ○示範や基準と比較して批正し、自己課題を設定する。 ○「新たな決意」を書き初め用紙に練習、まとめ書きをする。 ○学習のまとめとして、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材は生徒の実態や興味に合わせて、選択したり、展開を工夫したりする。 ・字形の整え方や、漢字は仮名より大きめに書くことを確認する。 ・筆順や文字の組み立て方、大きさを意識させる。 ・時間によっては、相互批正を加えてもよい。 【評】字形や、漢字と仮名の文字の大きさの違いに気を付けて書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・前時は、字形の整え方や文字の大きさ等を学習したことを確認する。 ・書き初め用紙を使用して書かせる。 ・書き初め用紙に書く姿勢については、床に座って書く、立って書く場合等、環境や実態に合わせて正しい姿勢を指導する。 ・基準は、以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ①仮名は漢字より小さめに書く。 ②行の中心をそろえる。 ・相互批正を取り入れることもできる。 ・用紙を折り、中心を確認するようにしてもよい。 ・試し書きと比べて学習の成果を確認させる。 【評】用紙に合わせて文字の大小や行の中心を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・文字の大きさや行の中心に気を付けて書いたことを確認する。 ・小筆の持ち方、かまえ方について、提腕法、枕腕法も含めて教科書(p. 131)か(p. 7)で確認させる。 ・学年、氏名等の記入内容を指示する。 ・基準は、以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ①行の中心をそろえる。 ②用紙に対する文字の大きさと配列に気を付ける。 ③本文と名前との調和を工夫する。 【評】本文と名前、楷書と仮名を調和よく、配列に気をつけて書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・できれば掲示や鑑賞会を行い、学習の成果を確かめる相互評価の機会を設けたい。

【 備 考 】

伝統的な年中行事である書き初めの学習は、日本の伝統や文化、特に文字文化について改めて関心・理解を深める機会としたい。また、学習時期を新年の志をもつ3学期当初とし、普段の学習とは異なる形や大きさの用紙を用いることにより、いっそう意欲的に学習に臨むことが期待できる。そうしたことを踏まえて、日常の書写活動に生かせるようにさせたい。